

## 羅臼岳登山道におけるヒグマ危険遭遇事案の発生および登山口の全面閉鎖について

7月9日（木）午前、羅臼岳の登山道において、下山中の登山者（60代 男性 単独）がヒグマに追いかけられ、クマ撃退スプレーを噴射する危険遭遇事案が発生いたしました。これを受け、知床ヒグマ対策連絡会議では人身事故のリスクが極めて高い状況（LEVEL4：極めて危険）と判断し、登山者の安全を確保するため、7月9日13時30分をもって羅臼岳、硫黄山、および知床連山縦走路のすべての登山口を緊急閉鎖いたしました。

事案の概要および現在の対応状況について、以下の通りお知らせいたします。

### 1. ヒグマ危険遭遇事案の概要（聞き取りに基づく）

- 発生日時：令和8年（2026年）7月9日（木）11時20分頃
- 発生場所：羅臼岳・岩尾別コース「オホーツク展望」付近
- 事案の発覚：登山者本人から下山後の通報
- 事案の経緯：
  - 単独の登山者が下山中、右後方よりヒグマ1頭が走って向かってきたため、登山道外の北側斜面（約20m下）へ逃げた。
  - 斜面を下った先にもヒグマが追いかけてきたため、距離が3～5mまで迫った段階で持参していたクマ撃退スプレーを噴射しました。
  - スプレー噴射後、数分間の膠着状態を経て、ヒグマは谷側へ逃げました（ロスト）。
  - 登山者はその後無事に自力下山を完了しています。ヒグマによる直接の負傷はありません。
- ヒグマの特徴：成獣サイズ、体毛は金色がちで、顔が黒っぽい個体。

### 2. 登山口・ルートへの閉鎖状況（LEVEL4：極めて危険）

当日13時30分より、安全確認のため以下の対象エリアのすべての登山口を全面閉鎖し、新たな入山を禁止しています。

- 羅臼岳（岩尾別コース）
- 羅臼岳（羅臼温泉コース）
- 硫黄山（硫黄山コース）
- 知床連山縦走路

**【閉鎖期間について】** この閉鎖措置は最短で7月14日（火）まで継続されます。現地調査等の結果を踏まえた再開の判断については、7月14日（火）中にあらためて発表いたします。なお、羅臼湖周辺（LEVEL1：通常）については事案が発生していないため通常通

り開放していますが、利用にあたっては十分な注意をお願いします。

### 3. 発生当日の対応および山中滞在者の安全確保

- **日帰り入山者の安全確保**： 通報受領後、即座に関係機関（環境省、知床財団、斜里町）が連携して入山し、登山者の下山誘導および安全確認を実施しました。日帰りの登山者（計 11 名）については、同日 17 時過ぎまでに全員が安全に下山したことを確認済みです。（入山前チェックシート・聞き取り・駐車状況 等）
- **山中滞在者への対応**： 7 月 8 日から知床連山縦走登山を行っていた利用者がいましたが、この滞在者に対しては下山において遭遇リスクを回避できるよう、関係機関等による連絡確認を実施し、10 日に安全に下山したことを確認済みです。

### 4. 今後の現地対応方針

7 月 9 日夕方、関係行政機関等による協議（知床ヒグマ対策連絡会議）を緊急開催いたしました。7 月 10 日（金）以降、専門スタッフによる現地調査（痕跡調査および事案発生現場の確認）を速やかに開始し、当該個体の行動分析とリスク評価を進めてまいります。

### 5. その他

登山者の氏名等の情報の公開は致しません。また、現地調査の日程等についての公表は致しません。

**【本件に関するお問い合わせ先】** 斜里町役場 環境課 / 知床ヒグマ対策連絡会議 事務局  
(※最新の情報は、公式ウェブサイト「知床情報玉手箱」等でも随時更新いたします)